

平成29年度 第4回平田地域協議会 市長とのグループミーティング会議録（要約）

1. 日 時／平成30年1月17日（水）午後2時00分～3時30分

2. 場 所／ひらた生涯学習センター 中研修室

3. 出席者／（1）1号委員（団体推薦委員）

岩間政幸委員、阿彦 健委員、梅木春一委員、佐藤善一委員、
前田恵次委員、長谷部耕次委員、石黒 均委員、今井宣幸委員

計 8名

（2）2号委員（識見委員）

石黒由香委員、高橋栄子委員、佐藤鐵喜委員、長堀恵理委員

計 4名

（3）酒田市長 丸山 至

市長公室 中條補佐、齋藤主査

酒田市平田総合支所

山口貴明支所長兼地域振興課長、佐藤栄一建設産業課長、

佐藤敏行地域振興課課長補佐、太田英一調整主任

計 7名

出席者合計19名

4. 欠 席 伊藤 弘委員、伊藤滋子委員、佐藤みさ子委員、

計 3名

5. 次 第 1. 開 会

2. あいさつ

（1）会長

（2）市長

3. ミーティング

（1）ひらた生涯学習センターの利活用について

（2）ひらた生涯学習センターの修繕について

（3）その他

4. 閉 会

6. 会議録（要約）

1. 開 会

▶山口支所長兼地域振興課課長

ただ今より、市長と平田地域協議会とのグループミーティングを開会します。

まず、はじめに、長谷部会長からごあいさついただきます。

2. あいさつ

▶長谷部会長

明けましておめでとうございます。

昨年3月の市長懇談会で市長から逆に提案あって、このミーティングが実現しました。

合併後、十数年経過し、協議会でずっと話し合ってきた課題になかなか答えが出ないこと

についてなんとか解消したい。今日は、市長から政治的判断をした答えをいただければありがたい。

先日、財務相の麻生さんが来県し、庄内地域開発協議会と話し合いを持たれたという新聞記事が出ていました。市長も出席されたわけですが、庄内の課題というものを陳情していただいたようだ。皆さんが議論することが地方創生の土台になる。地方創生的一端がこの協議会でもあると思いますので、よろしくお願いします。

▶山口支所長兼地域振興課課長

続いて、丸山市長をお願いします。

▶丸山市長

グループミーティングは、従来の移動市役所などでは紋切型の応答になってしまうので、生の声を聞かせていただきたいと思い始めました。地域協議会は、合併による議員減などのために、旧3町の地域の声が届かなくなることを危惧して組織されました。話し合いの中で様々な解決策を提案していく形を想定していたが、13年間してその機能が果たせたかという、形骸化してきた面もなくはないと思われるため、昨年3月に私を呼んでくださいと長谷部会長にお話し、今日実現した経過です。私は地域協議会が、議論の場、アクションの場になることが理想形だと思っていますので、その機能を果たしているうちは大切な存在として認知されていくだろう。

長谷部さんの話しにありました、麻生副総理・財務大臣ですが、先ほどお帰りになったばかりで、昼間はいっしょに食事をするのができたのですが、場数を踏んでいる、修羅場をくぐり抜けているという点ではやはり二枚くらい上手という感じがしました。心が揺さぶられそういう高揚感が残っています。私も自分の考えをはっきり言うようにしたいと思いますので、今日はよろしくお願いします。

▶山口支所長兼地域振興課課長

進行の方は、長谷部会長にお願いいたします。

3. ミーティング

(1) ひらた生涯学習センターの利活用について

▶長谷部会長

それでは、石黒由香さんから、「ひらた生涯学習センターの利活用について」提案していただきます。

▶石黒副会長

—— ひらた生涯学習センターの利活用について を提言 ——

- ・学習センターを中山間活動拠点にすることについて、管内にある経ヶ蔵山、胎蔵山、水辺の学校、眺海の森、海洋センター、悠々の杜、平田のそば打ちの施設などの利用を促進するために情報を集め、発信、紹介、案内するホームページを開設してリアルタイムの情報を発信して楽しみ方を提案する、ということです。
- ・現在、宿泊利用には学習センター内での研修が条件となっているため、管内の自然・施設の利用では宿泊利用が不可能であり、この辺りの活用が日帰りではできていないのが現状です。宿泊施設として利用拡大するためには、学習目的者を優先しながらも、宿泊利用目的者を別途利用料金で利用可能にできないだろうか。
- ・また、市民の利活用を優先するために、市民と市外者とで別料金にすることはできないだろうか。という提案です。

▶長谷部会長

ありがとうございます。市長からまずは総体的な意見をお願いします。

▶丸山市長

私の大方針として、交流都市として地域を元気にしていきたいというのがあります。八幡は鳥海山ジオパークがあり、松山は歴史・文化・伝統の資産があり、いろいろ活用して地域づくり事業をやれると考えます。平田は砂越あたりは市街地の一部という感じですが、当地域、田沢、東陽地区では遠いということもあり、なんらかの発信をしてそこに人を集める仕掛けが必要だと思っています。十二滝、経ヶ蔵山、胎蔵山というのは観光の一つの素材として磨き込んでいく必要があると思います。経ヶ蔵山、胎蔵山については廻って歩ける遊歩道の整備が必要だと思いますので、1年ですべてというわけにはいかないのですが、一定の整備の予算化したい。そしてそれだけではだめで、発信の仕掛けについては総合支所も含めて知恵を出していかないといけない。そこはひらた里山の会の皆さんと連携してやっていきたいと思っています。

宿泊施設としては、山口支所長は、元社会教育課におりましたので、昔は宿泊だけでも使っていたということでした。対外的には形を取ることは必要でも、運用で可能ではと話してましたし、私もそう思いますが、社会教育課との話し合いはいかがでしたか。

▶山口支所長兼地域振興課課長

担当課長と話したのですが、泊まるだけというのは別にして、ここをベースに使って平田界わいを廻るとかなら使用規則を守ってくれる限りいいのではないかとということでした。

▶丸山市長

界わいを廻るとというのが条件とは、いかにも役所的で、たとえば夜に勉強するというのもありだと思いますので、もう一度交渉お願いします。

使用料金については、来年消費税が上がるタイミングで全面的に見直す予定ですので少しお待ちいただければと思います。市民と市外の方との料金の違いもその時に合わせて議論したいと思います。

情報発信については、ツールがあれば、このセンターを中心に、たとえば里山の会と支所が連携して発信するとか可能なのではないかと思います。

▶長谷部会長

他に皆様からございませんか。

▶阿彦 健委員

先ほどの宿泊の運用については、管内の山や川で観光を含めた活動をしていただければそれだけでも万々歳ですよという解釈でよいのでしょうか。

▶丸山市長

役所内でもツアー客が来ることを観光と思っている節があるが、光るものを観ると書くように、自然や歴史、人間や文化などを見るのも観光。人間や文化など磨くのは社会教育文化の所管、社会教育文化課で担っている事業は、行きつく先では観光資源を磨くことに繋がっています。そのための施設がそのような仕掛けに利用するというのは不具合はありません。社会教育と観光というのは一体となってやっていくべき時代が来た。文化庁も文化財で人を呼び込むという方針に切り替えました。日本遺産も、文化財・歴史を使って人を呼び込むという大きな国の方針のもとでそういう施策に舵を切ったということ。

▶長谷部会長

合併協議会時の資料に、自然資源の管理システムを住民代表でつくってはどうかというのがあります。十二滝は、地元では信仰の対象で滝つぼの中にご神体があるそうです。こういうことは、地元の年配者しか知らないわけです。十二滝は、滝見ができなくなってから9

年手付かず、それに去年度の災害で今は如何ともし難いわけだが、これを復元・観光地としていく場合、地元の人すら知らなかった話をここの施設（当センター）に情報としておけば、行ってみようかということにもなる。小林の奥には石の形が柱みたいなものがあるともいう。集落ごとに地元年配者がそれなりの情報を持っているはずです。会をつくってみんなで情報をここに持ち寄って管理して、来た人に提供すれば、観光ルート資源として活用できるんじゃないかなど。

▶阿彦 健委員

ここを中山間地域地の活動拠点にするということで、たとえば、事務所がミニ観光案内機能を持ち、山の案内できる人を紹介するとかはどうか。イベントで農産物を売るとかできれば、地元も盛り上がるのではないのでしょうか。

▶丸山市長

いいですね。交流を慈善事業でやろうというわけではなくて、実入りも必要です。イベントや祭りで、こなすため販売するのではなく、儲けるために販売することは大切。そのためにこの施設を利用させていただくのもありだと思います。

▶阿彦 健委員

たとえば、赤ねぎや冷や水米などから、アピールするとか。

▶丸山市長

3年前のねぎサミット開催も、最初はJAも消極的でした。が、開催してみてそこから生産も広がってきました。やはり、儲けに結び付けるというのが大事で、やる気のある地元の人がいないと盛り上がりません。

観光ガイドについては、酒田市では質が問われていて、育成に努めたい。ビジターセンターという言葉がでてきたが、鳥海山、飛島についてはジオパーク認定なったということでビジターセンター作りたいという思いはある。ここをビジターセンターにするという発想はあってもいいと思う。ただお金がないので、最初から一気に投資が必要となると二の足を踏むので、まず、そういう素地がある地域で、実績を上げるために今ある施設を使いながら環境を整えていくというのが大事かなと思います。

▶岩間政幸委員

20年前から市長と同じような考えで、交流人口を増やそうと活動やってきました。胎蔵山は歴史のある山で、宗教的な活動も問題なくなってきたので、「背負い上げ」をPRするとか、「縁結び」を前面に出すとか呼び込みを図っています。酒田市からも助成いただいて、登山道を整備したり、水飲み場を作ったり、現在は山小屋を建てたりしています。

田沢地域でも小さな拠点づくりで頑張っていて、頑張るのは当然ながら情報のリンクが大切で、お互いに協力することにより、地元の米や農産物も売れたりします。自然を売って人を呼ぼうと言ってます。

▶丸山市長

山元分館も閉鎖予定でしたが、やる気があれば、農家レストランに使ってもらってもいいとOKした経過があります。やってもらえるのであれば、まだ新しく使わないともったいないです。

いろいろな地域の仕掛けを結び付ける仲人的な役割の人が地域に居ないと、そこは地元根付くまでは総合支所に担ってもらいたいと思っています。市街地のコミュニティと比べて非常に範囲が広いので、そういった意味ではハンディキャップは背負っているけれども、仕掛けを結びつける仕組みを作っていけば拠点として地域で使っていくことができます。興味を持ってない人にも伝わる仕掛けって必要だなと思います。

▶岩間政幸委員

お客さんが来ていただければやはり何がしか落としとしていってくれるだろう、と考えて活動することが大事。そういう意味でも施設の活用への理解を宜しくお願いします。

▶長谷部会長

この地域には食べもの屋がない。宿泊を考えると、食べもの屋がないのが困るところです。そこで、地元で採れた野菜や山菜を集めて、特徴のある料理を提供するような、管理を含めて組織を作るのはどうだという意見も出ていますので、それは課題として我々も地域の努力をしなければならぬと思います。

それでは、次の提案に進みたいと思います。

(2) ひらた学習センターの修繕について

▶長谷部会長

それでは、佐藤鐵喜委員から、「ひらた生涯学習センターの修繕について」提案していただきます。

▶佐藤鐵喜委員

—— ひらた生涯学習センターの修繕について を提言 ——

- ・管理棟は昭和54年竣工、37年経過しており、特にトイレの水回り配給管は限界。去年も破れました。水のPHが高く腐食が早いらしい。
- ・調理室にはデッドスペースになるカウンターが存在する。取り外しの願いは進まない。
- ・ガスコンロは後付けで古くなっている。瞬間湯沸かし機の配管は壁面を通過しているが壁面内で漏れている。
- ・スポ少など宿泊利用するのは主に子供たち。中野侯の勉強する会、コミ振事務局の阿蘇さんが独自メニューを示し、その注文を受けて食材調達から、調理サービスをやっている。自然体験学習を行う学校では、自分たちでスーパーで食材の調達まですべて行って自炊する学校もある。そのような利用の中、多い時で60人くらいが一度に利用するのに、調理室が狭すぎる。また古いため調理室は衛生面でも心配される。
- ・洋式トイレが管理棟の1つと一昨年改修の女子1つしかない。和式は使えない子がいる。
- ・宿泊棟も26年経過。浴室タイル、障子戸のサンはぼろぼろ。(遮光カーテン替え必要)瓦の雪止めは相当脱落、冷房の室外機の腐食、駐車場の暗がり侵入車両あるため照明要、テニスコート照明の4柱の3灯中2灯が不能、玄関の戸に隙間あり。
- ・宿泊については安いために県外からも来るが、全く研修を入れない輩もいる。ここはただ宿泊できる施設ではないと指導をしている。

▶長谷部会長

ありがとうございました。

予算がない中で市長から発言お願いするわけですが、一期でなくとも継続事業で行うことも可能かと思っておりますのでよろしくお願いします。

▶佐藤鐵喜委員

多目的ホールとテニスコートの間に45センチほどの側溝があります。子どもたちにとって危ないということで報告したら、側溝にグレーチングを入れてもらいました。それから、去年の夏に網戸を入れてもらった。それまで26年間、網戸がなかったが。そのように、少しずつ改善しているところもありますが、大きいところはなかなか。

▶丸山市長

宿泊の貸し方については、1時間でも研修あるなら利用してもらえればよいかと。しかし、地元で使えなくなるとは困りますから、バランスが大切かと思えます。

施設の改修については、調理室とトイレについては、来年度の予算でやりたいと思います。厨房はけっこうな費用がかかると思うが、東陽コミセンが入るのに合わせて対応したいと考えています。他の修繕については、少しずつやっていくこととなります。予算には財政課というフィルターを通すので、財政課が現地確認にきた時に適切なアピールするとかが有効であったりします。

アイアイの加藤さんから「ねまるのは大変なので、座敷で使える椅子・テーブルが必要」と話があったことを受け、検討して購入しましたが、平田だけというわけにはいかず、松山、八幡へもいれました。このようにバランスも必要になります。なお、デラウェア市からの訪問団をお迎えして出羽遊心館でのレセプションに利用することができてとても良かった。

▶丸山市長

合併当時、私は総合支所は基本的にいらないという考え方でしたが、結果として支所があることはよかったと思っています。でも、旧3町の中心部を見ても寂しくなっていており、人口減少があり仕方がない面もありますが、交流の拠点となる施設が必要であると思う。八幡についてはジオパークがありビジターセンターをつくる理屈付けができる。松山は城址館などで一定の投資をしている。ここ平田はあまりない。私の希望としては、いずれこのセンターが改修時期を迎えた時にでも利活用を進めビジターセンター的な利用もできればすばらしいと思っています。

ANA総研の副社長が、今外国人は日本の地方に興味を持っていて、一番魅力を感じるの、古い農家の一軒屋を使ったレストランや宿泊施設だと話してました。酒田に利用できそうな空き家ないですかと聞かれて、探してみますと答えていますが、なかなかありそうで、ないのです。1点光るものがあれば人が集まる。やるのは民間の力を活用、市ではなくて、リゾート開発などする会社が注目して行うということですが。

もし、ありましたらご紹介お願いします。たとえば、経ヶ蔵、胎蔵山の近くの古民家に宿泊できれば、そこを基点に山歩きする人が増えて、地域のイベントと合わせて賑わいにつながるとか。地域のあり方も変わってくるのではと思う。

▶長谷部会長

権限と財政という問題を我々は言ってきました。権限は支所長に与えてもらって、そこに財政が伴えば本当の意味での権限で地域を見ることができるようです。市長が心配している財政問題なので簡単にはいかないのはよく理解しています。結局、旧町民がどれだけ意識的に行政にも協力して、やれるものは自分たちでやり、できない法整備などは行政の力を貸してもらおうというスタンスは続くと思います。

今日はハードなお話をしていただき、調理室は改修するとお話いただきました。その他、ご意見ございませんか。

▶佐藤鐵喜委員

この地域の拠点施設という位置付けを考えると、貸館業だけでよいのか、地域支援施設的なものはどうなのかと以前、市長から聞きました。

▶丸山市長

どんな機能を持ったならそれを果たせるのか、それを誰が担うのか、地域で議論を深めたい。山元分館の話も、地元のお母さんたちがやる気満々だからお願いしているがなかなか苦勞はしているようです。

麻生大臣が、みんなで何かを造ることがこれからの日本の生き残りだと言っていました。国の予算は100兆円、でも国民の持ってる資産は1,800兆円あるんだそうです。それを何に使っていくのか。それでモノを作る技術を身につけ稼いでいくことがこれから日本がやらなければならないことだと言っていました。

地域づくりもそうですが、そういった仕組みも含めて センターの利用など地域の課題についても、仕組みを作ってもらえると、行政も動きやすくなります。協議会も頻繁に開いてもらって、話し合いをしていただければよいと思います。こういう会議も権限のある人を巻き込むということに意義があると思いますので、いいポイントの時に開催していただければと思います。

▶長谷部会長

ハード的な部分の話では、トンネルの先に光が見えてきたようなので、トンネルを出てからまた、将来について語り合っていきたいと思います。

(3) その他

▶長谷部会長

それでは、その他に入ります。

私の方から市長にお願いしたいのは、平成16年の資料によると協議会委員にPTAが入ることになっているのに、現在選出されていません。私が改選時にお願いに行きましたが、だめでした。行政側でサポートされているのか。

▶丸山市長

日ごろから、学校長とかPTAを地域へ巻き込む必要があるかと思っています。校長の考え方もあるかも知れません。

▶長谷部会長

何も要望はないのか聞いたら、薄暮時の平田中央線の街灯が暗いという話がありました。

その他として、消防本部移転後の平田総合支所庁舎の利活用について、美術品展示、そば道場、親子憩いの場所などの利用提案ありました。

▶丸山市長

それは、まだ先の話ですね。お話は聞いておりました。あれだけの建物の2・3階が空くわけですから、利用を考えていきます。

▶長谷部会長

十二滝についてですが、災害復旧については、2次工事必要になってやることになっていますが、その先の観光施設は9年間手付かずです。予算もかかりますので簡単にはいかないと思いますが、旧平田町で2億円以上の投資をしていますので、ぜひ課題に載せておいてください。

▶丸山市長

時間のかかる課題かと思っています。

▶長谷部会長

それでは、時間となりましたので、閉会としたいと思います。

協議会委員、行政、住民含めて一体感を密にして、今後も進めていきたいと思っています。

市長、どうもありがとうございました。

▶丸山市長

地域と行政の連携について、当協議会が、モデルとなっただけですようよろしく願います。

4. 閉 会

▶山口支所長兼地域振興課課長

「和をもって貴しとなす」という市長の年頭のあいさつがあり、和やかな1年にしたいということですが、今日はたいへん和やかでいい会であったかなと思います。

長谷部会長、ありがとうございました。

以上で、本日のミーティングを終了させていただきます。